

PictMaster 変更履歴

2013. 11. 1 Ver. 5. 7. 2

【機能改善】

- ・ネットワークドライブの割り当てを行っていないサーバ上に置いたPictMasterで生成を行った場合、ユーザがログインしている“マイドキュメント”フォルダ内にファイルが出力されるようにした。

2013. 10. 24 Ver. 5. 7. 1

【バグ修正】

- ・64ビット版Excel 2010でVBAのコンパイルエラーとなる問題に対処した。

2013. 8. 1 Ver. 5. 7

【バグ修正】

- ・実行環境によりVBAのコンパイルエラーが発生する場合がある問題を修正した。

【機能改善】

- ・制約表のセルを右クリックしたときにコントロールキーが押されている場合、Excelのショートカットメニューを表示するようにした。

2013. 3. 25 Ver. 5. 6

【その他】

- ・ユーザーズガイドをユーザーズマニュアルに変更した。
- ・ユーザーズマニュアルの軽微な記述誤りを修正した。

2013. 3. 11 Ver. 5. 6

【機能改善】

- ・制約表への値およびパラメータの記入をショートカットメニューからワンタッチで行なえるようにした。結果表への値の記入も同様にワンタッチで行なえるようにした。

2012. 7. 10 Ver. 5. 5. 1

【バグ修正】

- ・Excel2007以降のExcelで使用したとき、隣り合う制約条件が同じ内容で、隣り合う制約条件のセルを異なるが似かよった色で塗りつぶした場合、隣り合う制約条件が1つの制約として統合される場合があるバグを修正した。

2012. 4. 23 Ver. 5. 5

【その他】

- ・「k-way組み合わせと比較」の機能は仕様上の制限が多く実用的でないため削除した。
- ・「既存テストケースのカバレッジを表示」の機能は仕様上の制限が多く実用的でないため削除した。
- ・ユーザーズマニュアルをユーザーズガイドに変更した。

2012. 3. 27 Ver. 5. 4

【機能改善】

- ・組み合わせるパラメータ数(N)が1～5の範囲内であれば、「カバレッジを指定して生成」が実行できるようにした。この場合、N+1 wayのカバレッジ指定となる。
- ・組み合わせるパラメータ数(N)が1～5の範囲内であれば、N-wayとN+1-wayのカバレッジを表示できるようにした。

- ・拡張サブモデルで指定した2つ以上のパラメータについて、3つ以上から拡張サブモデルで指定したパラメータの数までの任意のパラメータ間の組み合わせ数を指定してテストケースを生成できるようにした。
- ・生成したテストケースで網羅されていない組み合わせを簡単に知ることができるように、任意の組み合わせのパラメータ数を指定して組み合わせを生成し、通常の方法で生成されたテストケースと比較して、テストケースに含まれていない組み合わせを灰色に塗りつぶして表示できるようにした。

【バグ修正】

- ・拡張サブモデルを指定した場合、パラメータの値が数値ではなく文字であるとVBAのエラーとなる場合があるバグを修正した。

【その他】

- ・拡張サブモデルで1つのパラメータについてのみ3パラメータ間の組み合わせとする機能は、メリットがなくデメリットが大きいため削除した。
- ・「実行」ボタンをクリックしたときにモデルファイル a.txt を新規に作成することができなかった場合に表示されるメッセージの文言をより分かりやすい文言に訂正した。
- ・値の並び欄にカンマ区切りで3つの数値を記入した場合、Excelのエラーマークが表示されることがある問題を修正した。
- ・ユーザーズマニュアルの内容を全面改訂した。
- ・その他に細かい改善多数

2012. 1. 11 Ver. 5. 3

【バグ修正】

- ・「既存TCのカバレッジを表示」で、ワークシートの名称が“a”でなかった場合にVBAのエラーとなるバグを修正した。
- ・「既存TCのカバレッジを表示」で、モデルファイル a.txt と テストケースファイル a.xls が一致していない場合にVBAのエラーとなる場合があったバグを修正した。

【その他】

- ・「全数組み合わせと比較」の機能を削除した。

2012. 1. 10 Ver. 5. 2

【機能改善】

- ・編集用のショートカットメニュー使用時のワークエリアとして、セルではなく定義したデータエリアを使用するように変更した。

【バグ修正】

- ・環境設定で「サブモデルを使用」と「全数組み合わせと比較」が同時に指定されていた場合、内容が空きの全数組み合わせが表示されるバグを修正した。
- ・制約表で値を指定するワイルドカードに“?”を使用する場合、全角の値の名称1文字を2文字の“??”で指定できるように修正した。
- ・結果表で、重み付けされた値を指定する際に、逆条件の“#”で指定すると、正しく処理されなかったバグを修正した。

2011. 12. 19 Ver. 5. 1

【機能改善】

- ・希望するパラメータのみ3パラメータ間の組み合わせとしたテストケースを生成する、拡張サブモデルの機能を追加した。

【バグ修正】

- ・「デフォルトのシードで生成」した際に、PICT内部でエラーを検出した場合にエラーメッセージが表示されなかったバグを修正した。
- ・Excel2003以前のExcelで、制約表の列についてショートカットメニューから「左に移動」を選択すると、内容が正しく移動されなかったバグを修正した。

2011.11.29 Ver. 5.0.1

【その他】

- ・アップデードインストールしたOffice2010で発生するバグにより、最小テストケース生成および3-Wayカバレッジ指定生成を行なうとVBAのエラーとなる障害に対処した。

2011.11.28 Ver. 5.0

【機能改善】

- ・テストケース生成時に3-Wayカバレッジと2-Wayカバレッジを表示できるようにした。
- ・生成済みのテストケースの3-Wayカバレッジと2-Wayカバレッジを表示できるようにした。
- ・希望する3-Wayカバレッジを確保したテストケースを生成することができるようにした。
- ・通常のテストケース生成と同時に全数組み合わせを生成することができ、網羅すべき重要な組み合わせが網羅されていないかを簡単に確認できるようにした。
- ・エイリアスの値についても値の重み付けができるようにした。
- ・統計情報で表示する項目のうち制約式最適化の有無について、環境設定で「制約式を最適化」が指定されていた場合のみ表示するようにした。
- ・環境設定で「設定を常に表示」が指定されていた場合に、表示する項目の行間が開かないように上に詰めて表示するようにした。
- ・扱えるテストケースの最大数を30000件から65535件に拡張した。
- ・64bit OS に正式に対応した。
- ・パラメータと値の並び欄、制約表および結果表の編集専用ショートカットメニューに次のメニューを追加した。
 - ・行を上に移動
 - ・行を下に移動
 - ・列を左に移動
 - ・列を右に移動